



Daito Chuo Osaka Japan

第2660地区 大東中央ロータリークラブ

*事務所

〒574-0046
 大東市赤井1-2-10-4F
 TEL : 072-872-6349
 FAX : 072-872-6552
 E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www.dcrc31477.com/



*例会

毎週水曜日 12:30~13:30
 ホテル阪奈
 〒574-0012 大東市龍間266-8
 TEL : 072-869-0181
 FAX : 072-869-0105



■会長:住川奈美 ■幹事:北田宗男 ■会報委員長:岡橋由佳

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

2019~2020年度

国際ロータリー・テーマ

ロータリーは世界をつなぐ

クラブスローガン

【大きな輪になろう地域で愛されるロータリークラブへ】

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第 1066 回 例会 令和 2 年 1 月 29 日

開会点鐘 : 12:30
 ロータリーソング : 「奉仕の理想」
 来客紹介 : 親睦活動委員長
 会長の時間 : 会長
 諸報告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱
 卓話 : 「広報・公共イメージ向上セミナーで学んだ事」
 閉会点鐘 : 13:30 岡橋 由佳 会員
 クラブ協議会 : 会員増強特別委員会

次週のお知らせ

卓話 : 「陰徳あれば陽報あり」 白川 初美 会員

1 月 15 日の例会の記録

出席報告

会員数 : 28 名
 出席者数 : 14 名
 欠席者数 : 7 名
 出席規定免除者数 : 6 名
 出席率 : 63.63 %
 12月11日 修正出席率 : 69.23 %
 ↓
 お客様 : 73.07 %

地区職業奉仕委員会
 委員長 山崎修一様 (大阪鶴見RC)
 米山奨学生 フォンカーマンさん

お知らせ

- ・2/5(水) 卓話 : 白川 会員
- ・2/12(水) 休会日
- ・2/15(土) 2020-21年度地区チーム研修セミナー 青田・田中
13:00~17:00 追手門学院大学 茨木総持寺キャンパス
- ・2/16(日) RAC第2回地区献血活動 10:00~16:00
①伏木大日前②京橋駅前③樟葉駅前④梅田HEP前⑤難波バス停横
- ・2/19(水) 卓話 : 国際奉仕月間に因んで
- ・2/26(水) 休会日
- ・2/29(土) 米山奨学生終了者歓送会 岩本・フジ
終了式18:00~19:00 歓送会19:00~21:00 シェラトン都大阪ホテル



二コ二コ箱

- ・山崎委員長 今日はお越し頂いてありがとうございます。岡橋会員
- ・山崎様卓話よろしくお願い致します。住川会員
- ・地区職業奉仕委員長 山崎修一様ようこそ!卓話ありがとうございます。青田会員
- ・山崎委員長ようこそ!卓話たのしみにしています。大東会員
- ・あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。荒金会員
- ・新年明けましておめでとうございます。今年も全出席を託くして。清水会員
- ・元気に出席できる事に感謝して!! 荒矢会員
- ・やっと「冬」らしく冷え込んできましたね。皆様お体をご自愛下さい。白川会員
- ・インフルエンザによる欠勤者が増えてきました。皆様もくれぐれもお気を付けて下さい。庵谷会員

当日計	¥21,000
今期累計額	¥656,000

《 会長の時間 》

会長 住川 奈美

明後日、阪神淡路大震災から25年の節目を迎えます。1995年1月17日、あの朝皆様は何をされていたでしょうか?まだ、生まれてなかったという会員さんはおられないと思います。

あの日、私は子供のお弁当の用意を始めていました。長男14歳、長女11歳、二女9歳。卵焼きを焼きはじめてすぐ、ただ事ではない揺れにすぐガスの火を消したのを覚えています。当時住んでいました枚方でも震度5~6はあったように思います。余震も何度もきました。テレビをつけても、あまり報道はされず、窓をあけ、火災が起こってはいないか確認したりしていました。子供達は、ベッドの上にあったオモチャが落ちてきたと言って起きてきました。家財が倒れるほどではなかったのですが、食器が数枚落ちて割れていました。その時には、このような大災害になっていたとは、思いもしませんでした。震源が淡路島北淡と聞き、大学時代の親友の嫁ぎ先であることに気づき、連絡とりましたが全く繋がりませんでした。無事が確認されたのは、それから一週間位後でした。

死者数6434人、住宅被害64万棟、被害総額9兆9268億 国家予算の1割となったそうです。この頃私は、まだロータリーを知りませんでした。大東中央ロータリーが生まれたところだと思います。国内はもとより、海外のロータリーからも多くの支援を頂いた事でしょう。その頃のお話も聞いてみたいと思います。

あれから数多くの災害が日本を襲いました。25年経った今も、その記憶を風化させる事なく、教訓として次に繋げていかなければならないと思いました。

常に奉仕を重んずるロータリアンとして、自分達は、どう考えどう実行していくのが最適なのか常に判断する力を養っていきたいと思います。



[幹事報告]

幹事 北田 宗男

①新入会員について

1月理事会で大川卓也氏の入会申請書を承諾致しましたので、細則第13条第5節により、本日の例会で全会員に告知し1月22日迄に異議の申し出が無い場合、入会手続きを致します。

②IM3組ロータリーデーについて

3月14日(土)13時より守口文化センター「エナジーホール」にて行います。
テーマは「教えて貰ってないからでは通用しない～これからの子どもたちへ～」です。

北河内地域10クラブと大阪市内4クラブで構成されるIM3組の合同例会に当たる催しであります。当クラブの大東、多田羅両会員もこの運営会議に参加しております。出来るだけ多くの参加、出席をお願い致します。

③米山奨学生終了歓送会

2月29日(土)18時よりシェラトン都ホテル大阪にて開催されます。

当クラブのファン カーマンさんも出席されます。

参加ご希望の方は、事務局か幹事までお知らせください。



ロータリー財団より、称号が贈られました

☆ポール・ハリス・フェロー

荒金 正之 会員

ロータリー米山記念奨学会より称号が贈られました

大東 雅代 会員 第1回米山功労者

岡橋 由佳 会員 第1回米山功労者

庵谷 和宏 会員 第1回米山功労者



第12回米山功労クラブ



米山奨学金授与



地区大会に於いて

2018-19年度ロータリ会長特別賞 プラチナ賞授与

荒金正之直前会長





●)) 先週の卓話 ((●



「ロータリー職業奉仕 その根幹」

国際ロータリー第2660地区
2019-20年度 職業奉仕委員会
委員長 山崎 修一 氏

「ロータリーの職業奉仕 その根幹」という題でお話をさせていただきます。「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」「四つのテスト」など、「ロータリーの樹」の“根と幹の部分”を考える機会にしたいと思います。

まずは「働きがい」です。これを失ったら職業奉仕は成り立ちません。健康、家庭、職場などを大事にしながら、目標や理想など目指すところに向かって継続努力するところに「働きがい」があります。しかし、最も大事な点は、単に自分が目標を実現するだけでなく、周りの人たちがそのことによって認めてくれる、喜んでくれる、幸せになることでしょう。

さらにその点を掘り下げると、「Stand by YOU」に繋がります。まず、相手の立場に立って考えること、相手の気持ちがわかることがスタートです。これこそコリンズが紹介した第一のモットー「超我の奉仕」の原点です。さらに、相手の立場に立って、自分を厳しく客観的に眺めることが要求されます。この基準がハーバート・テラーによる「四つのテスト」です。日本には従来から「情けは人の為ならず」ということわざがありますが、これは第二のモットー「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と本質は同じところにあるとも言えるでしょう。

では、三つ目の「人づくり」について考えてみます。ここには5つの視点があります。たとえば植物は、「土」に「種」を蒔き、やがて芽を吹く、そして花が咲き、身を実らせる、それが何倍もの「種」となって「土」に戻り、また芽を吹くといった繰り返しをしながら成長していきます。人の成長をこの5つ「土種芽花実」になぞらえてみましょう。

第一に、「土」すなわち組織は一人ひとりにとっての成長の舞台、自分の力を最大限に発揮する舞台だ、という捉え方です。ロータリーという組織も、明らかに成長の舞台、人づくりの場です。

第二に、そこでいう成長とは、変化の一つ、「変化こそ生命（いのち）」だという点です。「種」が宿るのです。今私の目の前のパソコンを思い切り床にバンとたたきつけると、粉々に割れます。形が変化しました。しかし、パソコンには生命はない、では生命って何だろう、それは、自分の意志と力で変化するということではないでしょうか。パソコンは残念ながら他の力でしか変化できない、だから生命を



宿していません。一方で、草花は、自ら水分や養分を吸い摂り、光合成をして変化していきます。だから生命です。自律的に変化していくところに、「働きがい」が生まれるのです。

第三は、その変化や成長が「芽」をふく方向です。日本国憲法第22条には職業選択の自由が謳われています。私も税理士という職業を選択しました。ところが30歳で独立したときに、いくらその仕事をしたくても仕事ができませんでした。全く申告書が書けなかったのです。申告書を書いてくださいというお客様がいなかった、ゼロからのスタートだったからです。人が仕事を選ぶのは当然のこととして、実は仕事から選ばれる存在になるように変化、成長していかなければならない、「変化こそ生命」の方向は、「人が仕事を選び、仕事から人を選ぶ」というところにつながることで「花」が開くと思うのです。

そうすると第四に、仕事から選ばれる存在になるにはどうすればいいか、一人ひとりが「花開く」ためには何が必要かということがポイントになってきます。これこそ正解はないように感じます。ただ1つだけ言えることは、これからの時代は他の人と同じことをしていたのでは、「あなたにお願いします」と言って選んでいただけないだろうということです。「自分らしさ」が大事なのです。「独自性と多様性」が求められることの意味がここにあります。ロータリーの各会員、各クラブも例外ではありません。

そして第五に、こういう「らしさ」を鍛え上げていくには、いただいた報酬や利益を投資に回さなければなりません。金銭的な投資はもちろん、時間的な投資も大事です。「毎月給料の10分の1、毎日1時間を自分の将来のために使いなさい。毎日1時間、1カ月で30時間、そんな大きな差じゃない。だけど、1年がたつとやっている人とそうでない人とで360時間の差になってくる。そうすると1日10時間ずつ追いつこうと思っても36日かかる差になる。それが5年、10年したら圧倒的な差になってもう取り返しはつかないだろう。日々の積み重ね、1時間1時間の投資の積み重ねがものを言うよ。」と、ある人に教えてもらいました。ロータリーの例会は毎日ではなく、毎週ですが、その1時間1時間の積み重ねこそ、真の親睦を通じて、人づくりの原点なのです。ということで、またロータリーの例会といった成長の場、「土」へ戻って来ました。この好循環こそ、職業奉仕の根幹である「人の成長」に必要なと考えています。そして、「人づくり」は、結局、自分の成長につながるという意味で「自分づくり」だと言えるでしょう。

